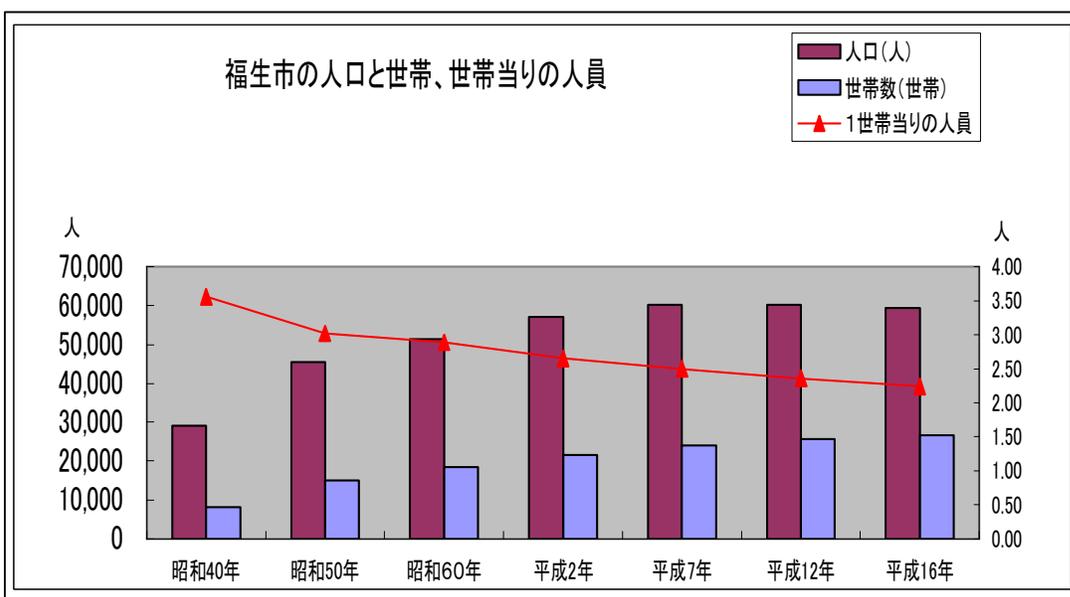


市民の健康状態

(1)人口と世帯数の推移

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成16年
人口(人)	29,133	45,418	51,457	57,141	60,207	60,288	59,431
世帯数(世帯)	8,177	15,034	18,453	21,534	24,095	25,566	26,549
1世帯当りの人員	3.56	3.02	2.89	2.65	2.50	2.36	2.24



2004市勢統計より

- ・人口は平成7年から12年にかけて最も多く、その後は徐々に減少している。世帯数は増加している。
- ・人口と世帯の増減はゆるやかになっている。
- ・1世帯あたりの人員は年々減少している。

(1)-2世帯の種類

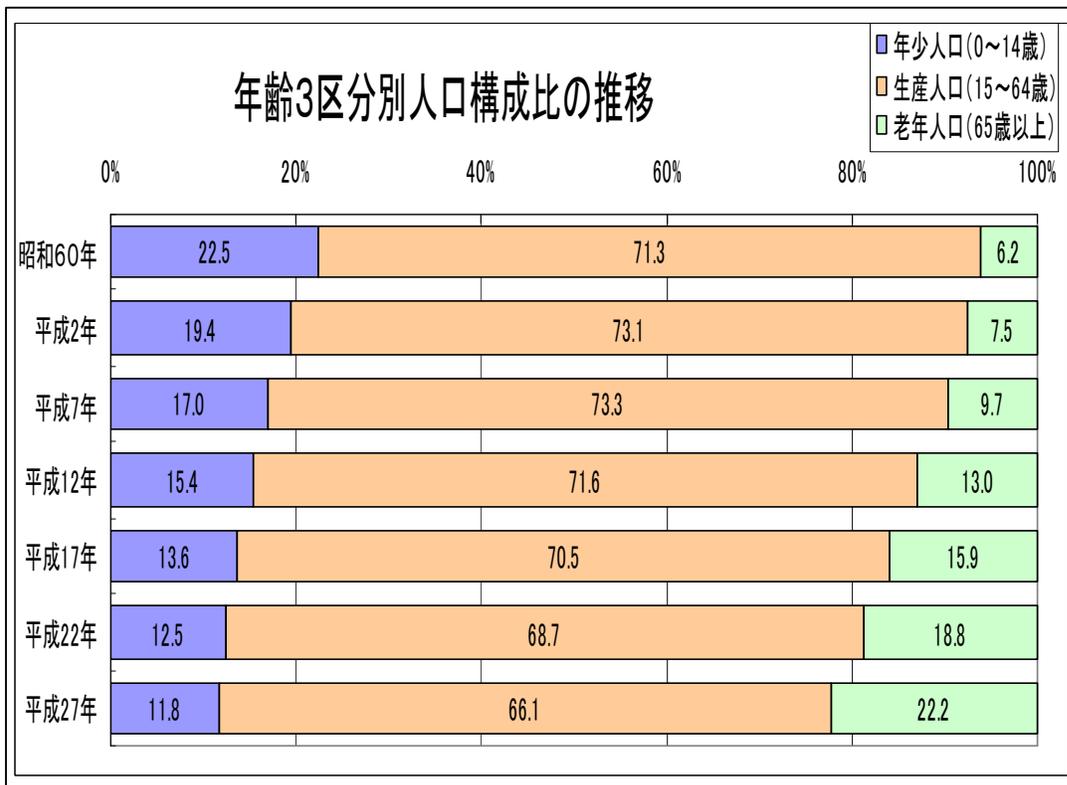
	一般世帯	親族世帯	核家族世帯			その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯	
			夫婦のみ	夫婦と子ども	ひとり親				
福生市	25,334 100.0%	16,598 65.5%	14,965 59.1%	4,505 17.8%	8,259 32.6%	2,201 8.7%	1,633 6.4%	153 0.6%	8,583 33.9%
東京都	100.0%	58.5%	52.2%	16.9%	27.9%	7.3%	6.3%	0.7%	40.8%
全国	100.0%	72.0%	58.4%	18.9%	31.9%	6.5%	13.6%	0.4%	27.6%

- ・世帯の種類をみると、東京都に比べて核家族世帯が多い。
- ・核家族世帯のなかでも、夫婦と子供のみの世帯が多い。
- ・都、全国と比べて核家族が多く、中でもひとり親世帯が多い。

平成12年国勢調査より

(2) 年齢3区分別人口構成比の推移

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
年少人口(0~14歳)	22.5	19.4	17.0	15.4	13.6	12.5	11.8
生産人口(15~64歳)	71.3	73.1	73.3	71.6	70.5	68.7	66.1
老年人口(65歳以上)	6.2	7.5	9.7	13.0	15.9	18.8	22.2

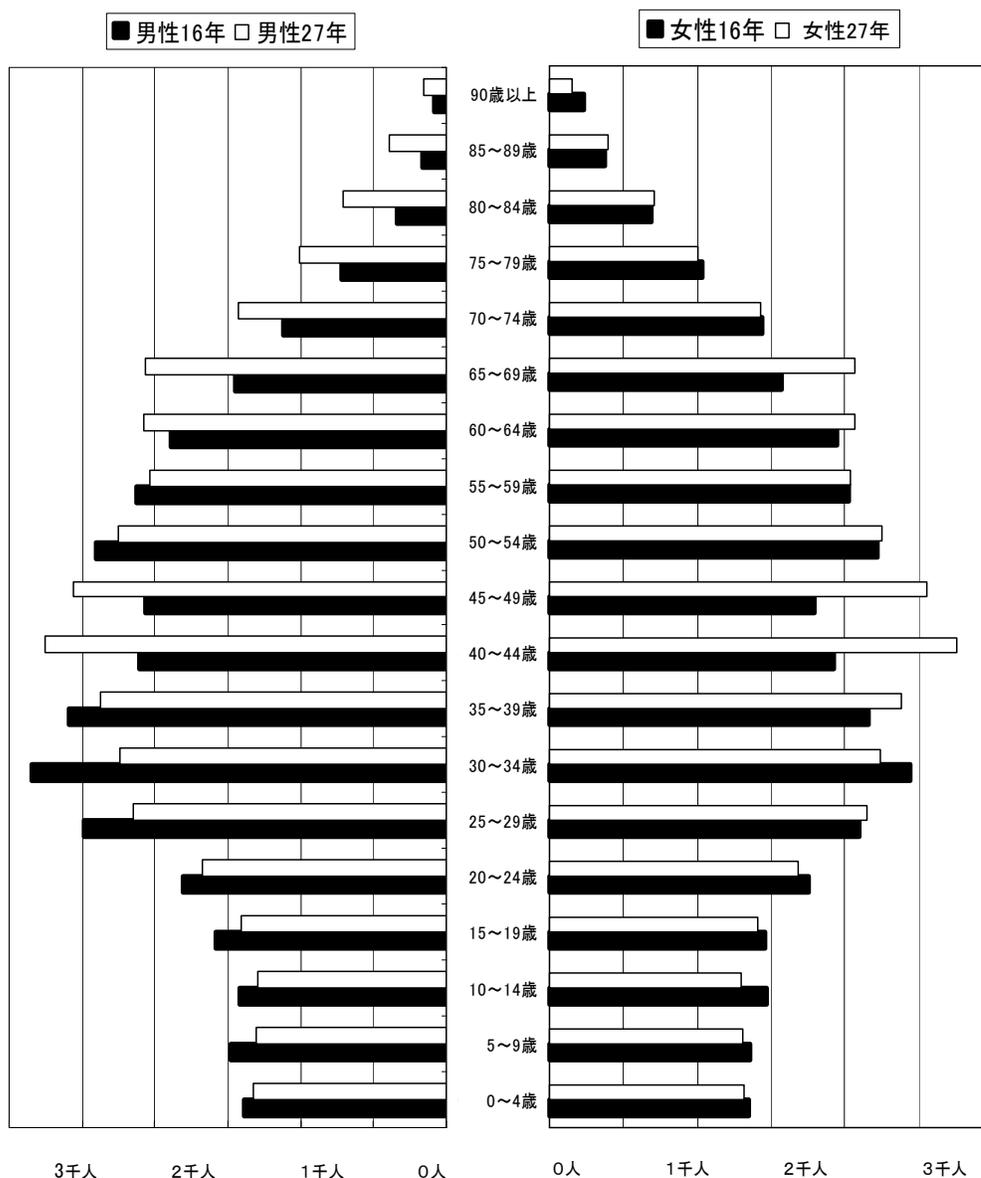


※各年住民基本台帳1月1日現在より

※平成22年・27年は東京都男女年齢別人口の予測(15年3月公表)より

- ・年少人口比は、年々減少している。
- ・生産人口比は、平成7年を頂点に減少している。
- ・老年人口比は、年々増加している。平成2年から平成17年で2倍以上になっている。

(3) 年齢別人口割合の変化(平成16年1月1日と平成27年(推定値)の比較)



※『事務報告』・平成27年推定は『東京都男女年齢(5歳階級)別人口の予測(15年3月公表)』より

- ・現在(平成16年1月1日)は、団塊の世代(昭和22年~24年生まれ)『55~57歳』前後と団塊ジュニア(昭和46年~49年生まれ)『30~33歳』の人口が多い。
- ・10年後(平成27年)は、少子高齢化が進み、60歳以上の人口増加が顕著であり、男女とも、団塊ジュニアの世代が人口の中心と予想されている。

(4) 移動人口の推移

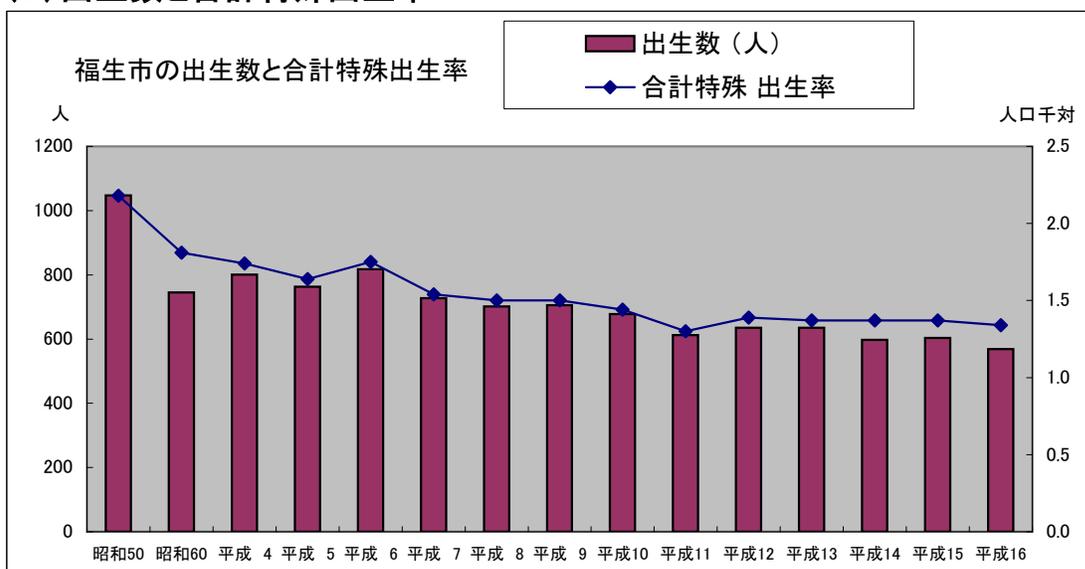
	自然動態			社会動態			人口増
	出生	死亡	自然増	転入	転出	社会増	
平成11年	599	412	187	4,065	4,331	△ 266	△ 79
平成12年	626	395	231	4,056	4,251	△ 195	36
平成13年	645	393	252	4,072	4,254	△ 182	70
平成14年	600	390	210	3,778	4,308	△ 530	△ 320
平成15年	606	402	204	3,603	4,450	△ 847	△ 643
平成16年	572	430	142	4,176	4,276	△ 100	42

福生市事務報告より

△は減少

- ・自然動態については、平成12年、13年の出生が多い。
- ・死亡については、400前後で推移している。
- ・社会動態については、転入よりも転出が多い。
- ・毎年10%以上の人口が転出入により入れ替わっている。

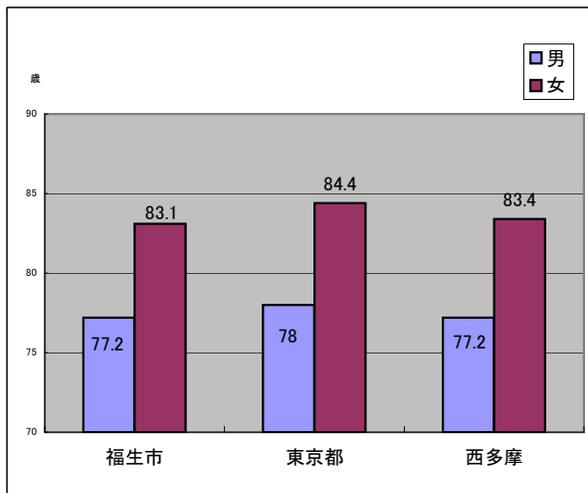
(5) 出生数と合計特殊出生率



保健所事業概要より

- ・徐々に減少してきたが、最近はやや横ばいになってきている。

(6) 平均寿命

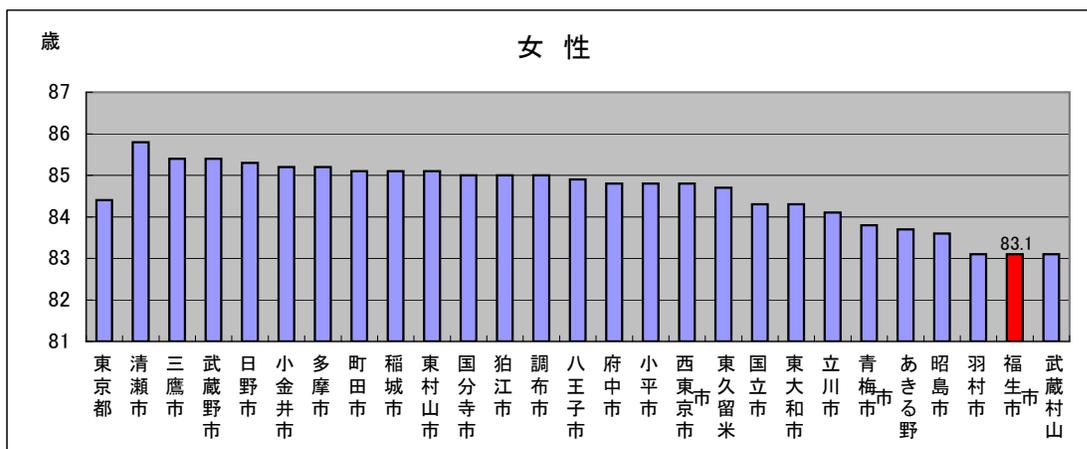
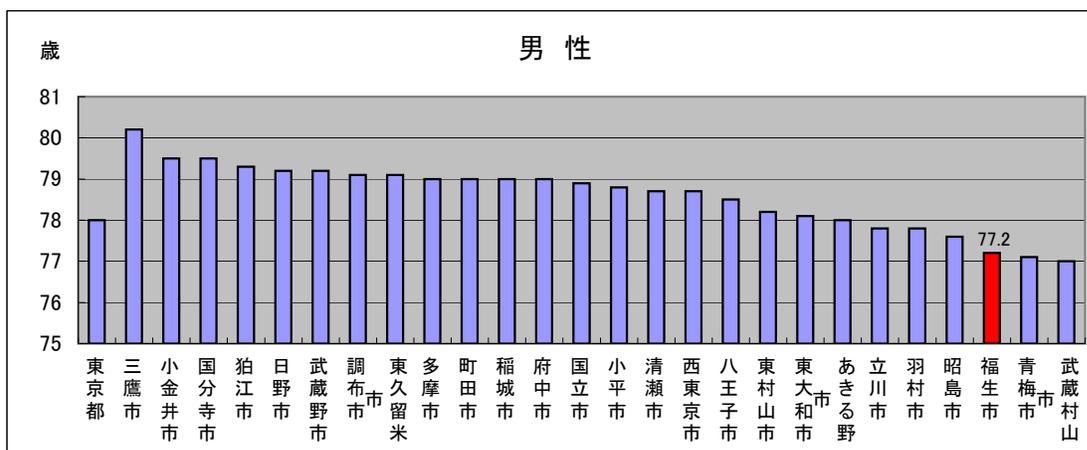


	福生市	東京都	西多摩
男	77.2	78.0	77.2
女	83.1	84.4	83.4

- ・西多摩地域と福生市とは、特に差はない。
- ・東京都よりは少し低い。
- ・女性のほうが、6年ほど平均寿命が長い。

平成16年度保健所事業概要より

26市平均寿命の比較



厚生労働省ホームページ平成12年市区町村別生命表の概況より

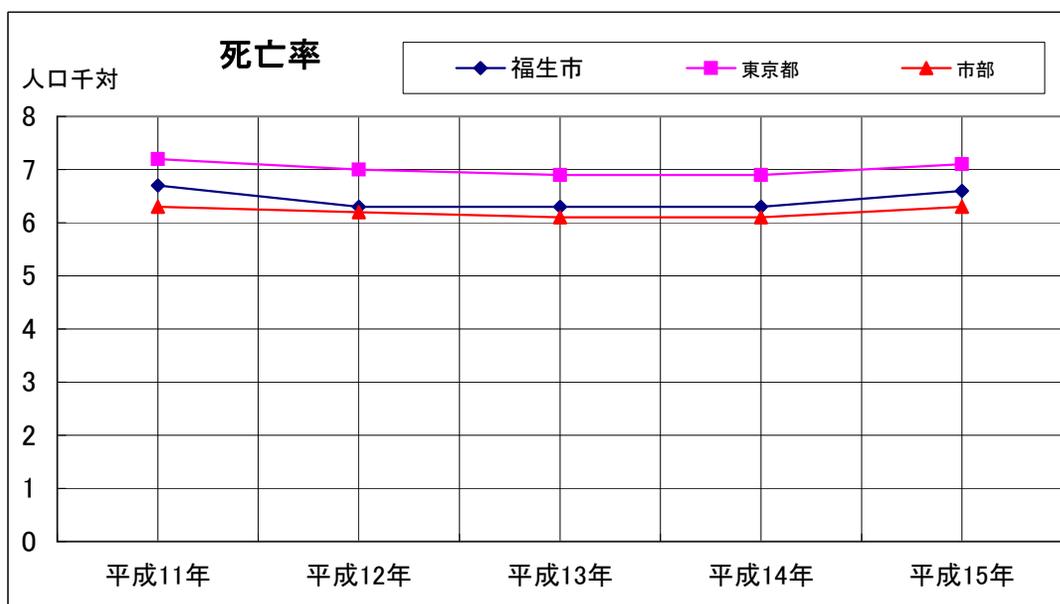
(7) 死亡数・死亡率

(人)

死亡数	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
福生市	415	385	388	387	404
東京都	85,427	80,627	84,586	85,162	87,500
市部	23,816	23,040	23,707	23,996	24,747

(人口対千)

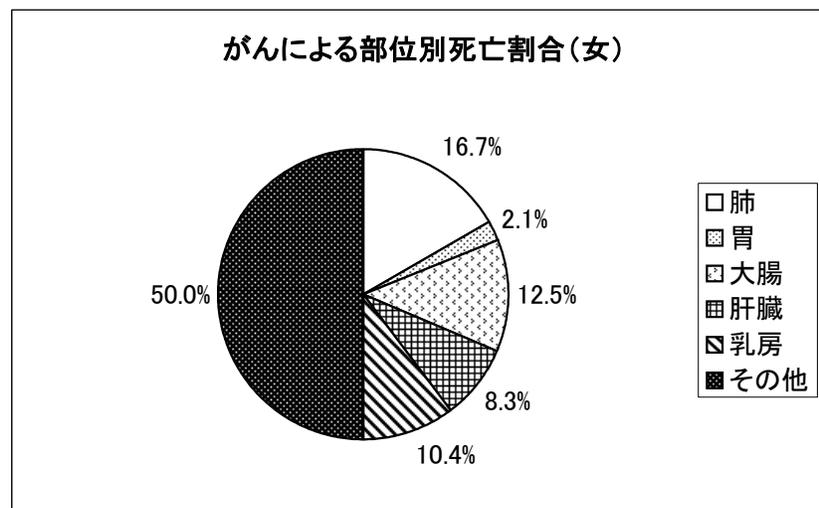
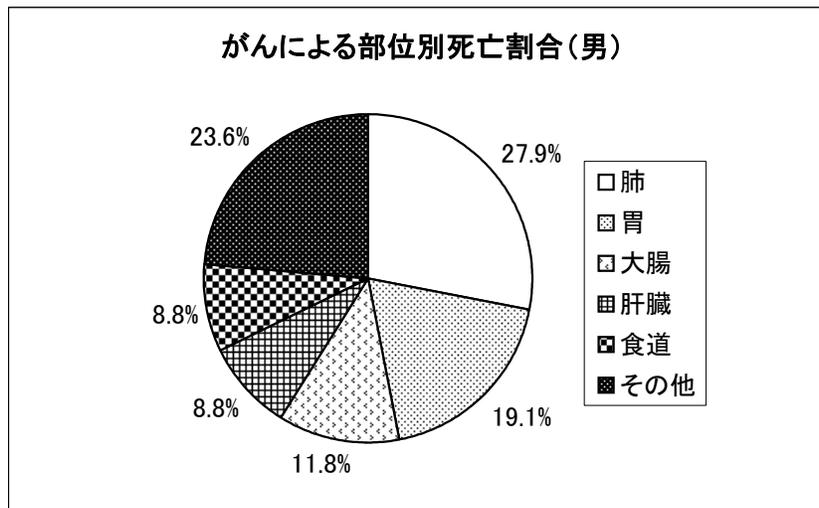
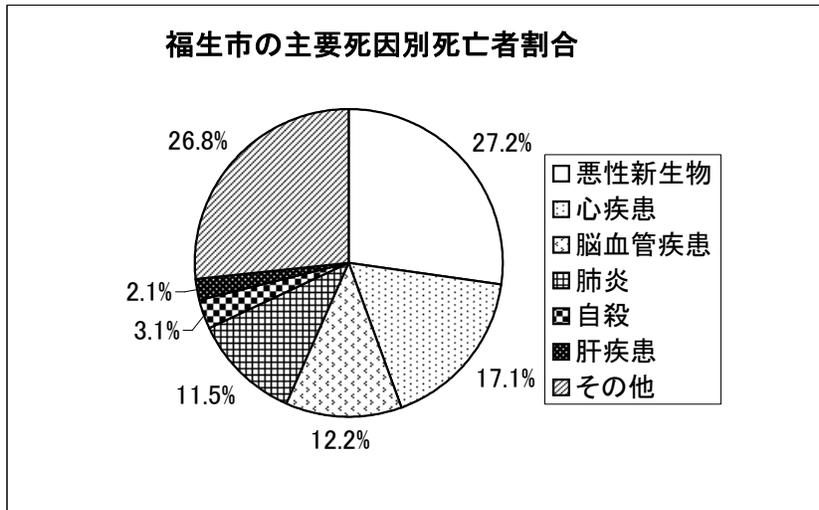
死亡率	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
福生市	6.7	6.3	6.3	6.3	6.6
東京都	7.2	7	6.9	6.9	7.1
市部	6.3	6.2	6.1	6.1	6.3



東京都衛生年報より

- ・市部と比較すると、福生市は少し高い。
- ・東京都と比較すると低い。

(8) 主要死因別死亡割合(平成16年度)



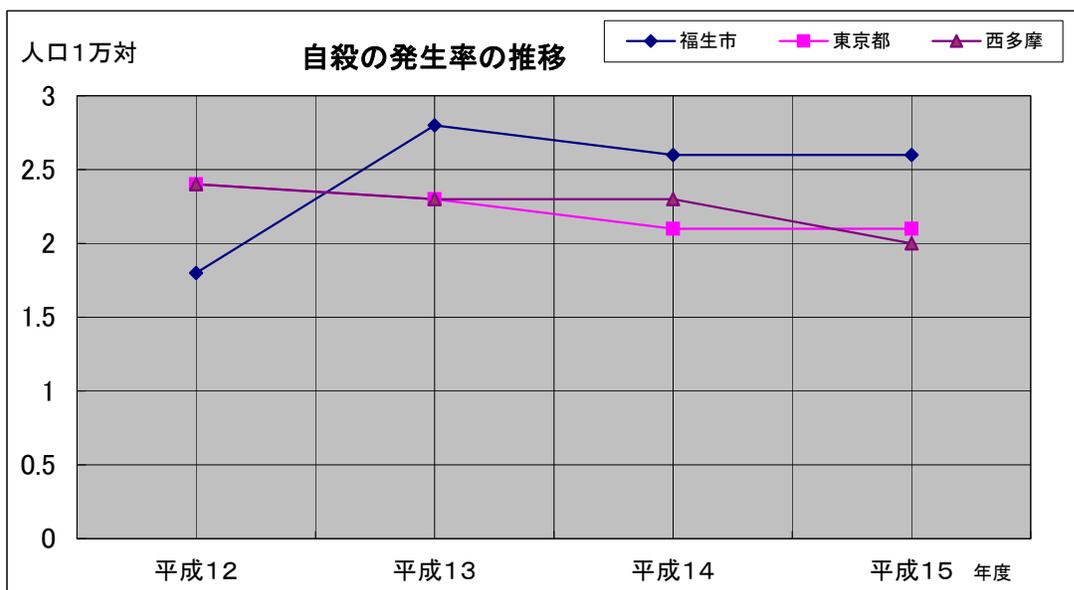
保健所事業概要より

(9) 自殺

自殺の発生率 (人口1万対)

	平成12	平成13	平成14	平成15
福生市	1.8	2.8	2.6	2.6
東京都	2.4	2.3	2.1	2.1
西多摩	2.4	2.3	2.3	2.0

保健所事業概要より



・東京都、西多摩と比較しても、高めである。

精神保健福祉相談

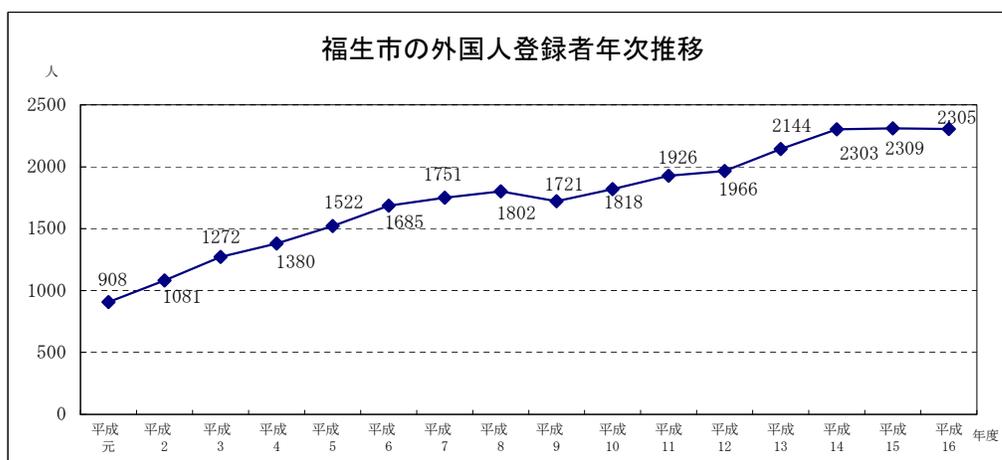
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
精神障害者保健福祉手帳申請件数 (件)	41	42	52	78	75
通院医療費公費負担申請件数 (件)	271	409	388	381	312
実人員 (人)				264	315
家庭訪問				44	59
面接相談				85	93
電話相談				89	106
関係機関連絡				37	47
その他				9	10
延べ人員 (人)			658	832	1272
家庭訪問				139	278
面接相談				183	270
電話相談				416	597
関係機関連絡				83	115
その他				11	12

※精神障害者保健福祉手帳申請・通院医療費公費負担申請は2年に1回の更新

- ・手帳の申請件数は増加傾向にある。
- ・医療費公費負担申請数は平成13年度に増加した。

事務報告より

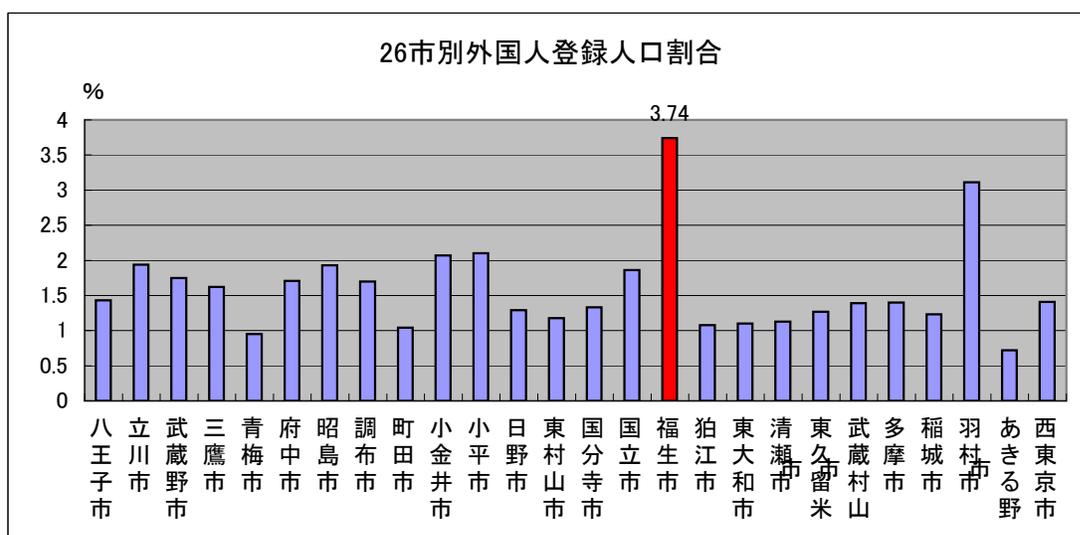
(10)外国人登録者年次推移



事務報告より

- ・年々増加傾向であり、平成元年から平成8年までで約2倍になり、平成16年には約2.5倍となっている。

26市別外国人登録人口割合



東京都総務部統計局住民基本台帳による世帯と人口より 平成17年5月現在

- ・福生市は羽村市と共に多摩地域の中では多い。

(11) 産業別構成比の推移

(%)

	平成2年	平成7年	平成12年	東京都(H12)	西多摩(H12)
第1次産業	0.4	0.5	0.3	0.4	1.3
第2次産業	34.4	30.9	30.6	22.5	34.2
第3次産業	63.5	66.4	66.1	74.2	62.6
その他	1.7	2.2	3	2.9	1.9

国勢調査より

- ・第1次産業(農林漁業)と第2次産業(製造業)は減少傾向である。
- ・第2次産業は東京都に比べて高いが、第3次産業(サービス業)は東京都に比べて低い。